



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月10日

上場会社名 ダイコク電機株式会社 上場取引所 東・名  
 コード番号 6430 URL <https://www.daikoku.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大上 誠一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部長 (氏名) 栢森 啓 (TEL) 052-581-7111  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	17,907	△33.9	514	△71.6	831	△58.1	519	△59.3
2020年3月期第3四半期	27,101	9.3	1,811	△1.7	1,985	△1.5	1,277	△4.8

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 533百万円(△58.4%) 2020年3月期第3四半期 1,282百万円(△2.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	35.14	—
2020年3月期第3四半期	86.43	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	40,672	30,348	74.6
2020年3月期	42,702	30,406	71.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 30,348百万円 2020年3月期 30,406百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	10.00	—	30.00	40.00
2021年3月期	—	10.00	—		
2021年3月期(予想)				30.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,000	△15.0	400	△72.1	500	△70.1	300	△71.7	20.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	14,783,900株	2020年3月期	14,783,900株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	918株	2020年3月期	868株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	14,783,023株	2020年3月期3Q	14,783,046株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関しては、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年12月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う国内外の経済活動の停滞や縮小により、景気は大幅に悪化しました。5月の緊急事態宣言解除後は、政府の経済対策効果もあり、社会・経済活動は段階的に再開され、徐々に持ち直しの動きが見えはじめましたが、第3波となる新型コロナウイルス感染症の再拡大による経済への影響が懸念されており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが携わるパチンコ業界におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、パチンコホールの稼働は期初大幅に落ち込みましたが、7月以降におきましては前年同月比約80%まで回復しております。しかしながらコロナ禍前の稼働状況には至っておらず、ファン(遊技客)の回帰は限定的となっております。

10月以降の種別稼働状況につきましては、第3波となる同感染症の再拡大により全店稼働が低下しているなか、パチンコ遊技機では、ゲーム性の幅が広がり新たなファン層を獲得している「遊タイム」搭載機種種の導入が進んだため、前年同月比約80%の稼働を維持しておりますが、パチスロ遊技機におきましては、人気のあった旧基準機の撤去が年末年始にかけて概ね完了したため、11月以降の稼働は減少傾向にあります(当社「DK-SIS」データ比較)。

パチンコホールにおける設備投資の状況につきましては、同感染症再拡大への懸念が広がるなか、新規出店や大規模改装工事等の設備投資はさらに慎重な姿勢が広がっております。

遊技機の入替状況につきましては、旧規則遊技機の撤去期限が一部延長されたことや同感染症の再拡大もあり、新規遊技機への置換に慎重な姿勢が継続しております。しかしながら、「遊タイム」を搭載したパチンコ遊技機が各メーカーより主力タイトルとして市場に順次導入されていることから、今後の遊技機入替需要の活性化が期待されております。

このような市場環境のもと、情報システム事業におきましては、パチンコホールに導入が進んでいる「遊タイム」搭載パチンコ遊技機に対応した新機能をリリースし、ファン向け情報端末「BIGMO PREMIUM」や「REVORA」、AIホールコンピュータ「X(カイ)」の拡販やシステムアップによる入替促進に努めました。また、コロナ禍のなか、パチンコホールにおける感染症対策として、ファン向け情報端末上に清掃や消毒状況がひと目でわかる新機能を追加したことに加え、ファンとホールスタッフが非接触となり、省人・省力化につながるセルフカウンター用POSにおきまして、ファンの利便性向上に寄与する新機能をリリースいたしました。当事業は今後もパチンコホールにおける感染症対策の強化に努めてまいります。

制御システム事業におきましては、パチスロ遊技機の受託開発や販売製品の事業領域を拡大する活動を推進するとともに、表示ユニットの低コスト化に向けた技術及び部品の調査研究に努めました。当事業の顧客である遊技機メーカーでは、「遊タイム」等の新しい遊技性を有したパチンコ遊技機の開発が本格化してきておりますが、新規タイトルの開発着手については慎重な姿勢となっております。この動きに合わせ、当事業におきましても販売スケジュールへの影響を最小限に抑えるべく、リソースの再分配や工程の見直し等に積極的に取り組みました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高179億7百万円(前年同期比33.9%減)、営業利益5億14百万円(同71.6%減)、経常利益8億31百万円(同58.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益5億19百万円(同59.3%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(情報システム事業)

当事業の第3四半期連結累計期間は、コロナ禍のなか、9月に実施いたしました業界初となるオンライン形式の「MIRAI GATE 2020 Web展示会&セミナー」におきまして、新型コロナウイルス感染症対策や「遊タイム」搭載パチンコ遊技機の最適なデータ表示等の各提案に多くのパチンコホール経営企業よりご賛同をいただき、10月以降のAIホールコンピュータ「X(カイ)」のシステムアップやファン向け情報端末の導入は順調に推移いたしました。

しかしながら例年繁忙期となるはずの年末商戦におきましては、新型コロナウイルス感染症の再拡大の懸念が広がり、パチンコホールの新店計画や改装工事の多くは延期または中止になるなど、パチンコホール経営企業の設備投資は一転して慎重な姿勢となり、主要製品であるCRユニットやファン向け情報端末の販売は前年同期を下回りました。

この結果、当事業の売上高は137億56百万円(前年同期比37.6%減)、セグメント利益は16億98百万円(同47.9%減)となりました。

(制御システム事業)

当事業の第3四半期連結累計期間は、パチンコホールにおきまして4月から5月にかけて新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐための休業や時短営業が行われ、その後の稼動状況の回復も鈍化していることもあり、各遊技機メーカーにおきましては新作タイトルの販売は延期され、市場全体のパチンコ遊技機販売台数は大きく減少しました。当事業におきましても部品販売は前年並みとなりましたが、表示ユニット、制御ユニットの販売は前年同期を下回りました。

この結果、当事業の売上高は41億55百万円(前年同期比18.0%減)、セグメント損失は85百万円(前期セグメント損失80百万円)となりました。

(注)セグメントの業績の金額には、セグメント間取引が含まれております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結累計期間末の総資産は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う影響があるものの、9月に開催したWeb形式での展示会やセミナーの開催などにご賛同いただいたこともあり、当第3四半期連結会計期間において売掛金が大幅に増加致しましたが、第2四半期連結累計期間までの業績が低調だったこともあり、受取手形や電子記録債権は減少いたしました。また、新型コロナウイルス感染症の再拡大も懸念される状況を踏まえ、大きな設備投資を自粛したことなどにより、減価償却費の計上が上回ったことなどから、前連結会計年度末に比べ20億29百万円減少の406億72百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間末の負債は、新型コロナウイルス感染症の再拡大が懸念される状況を踏まえ、仕入計画を綿密に行ってきたことにより仕入債務が大幅に減少いたしました。合わせて、必要経費の削減にも努力してきたことにより未払金なども減少いたしました。その結果、前連結会計年度末に比べ19億71百万円減少の103億24百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間末の純資産は、中間配当金の支払いがありましたが、当第3四半期連結会計期間は比較的業績が好調に推移したこともあり、前連結会計年度末に比べ57百万円減少の303億48百万円にとどまりました。自己資本比率は74.6%(前連結会計年度末比3.4ポイント上昇)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期の業績予想につきましては、2020年5月21日に開示いたしました数値から変更はありません。

第3波となる新型コロナウイルス感染症が再拡大しているなか、感染症の影響が社会・経済活動に与える影響は不透明であり、パチンコホール経営企業の設備投資動向や遊技機入替計画につきましても不透明な状況にあります。今後の景気や個人消費及び業界の動向を踏まえ、業績予想を見直す必要が生じた場合には速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,478,001	15,148,341
受取手形及び売掛金	4,026,639	4,743,462
電子記録債権	1,568,880	899,387
商品及び製品	3,713,475	3,424,395
仕掛品	30,500	21,946
原材料及び貯蔵品	542,786	406,737
その他	889,126	852,038
貸倒引当金	△1,952	△2,573
流動資産合計	26,247,459	25,493,738
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,824,816	3,660,831
土地	4,162,117	4,162,117
その他(純額)	1,080,602	892,638
有形固定資産合計	9,067,536	8,715,587
無形固定資産		
ソフトウェア	3,525,678	2,879,463
その他	34,613	34,187
無形固定資産合計	3,560,292	2,913,651
投資その他の資産		
繰延税金資産	1,133,989	860,904
投資不動産(純額)	901,876	893,083
その他	1,939,260	1,947,263
貸倒引当金	△147,823	△151,297
投資その他の資産合計	3,827,303	3,549,953
固定資産合計	16,455,133	15,179,191
資産合計	42,702,592	40,672,929

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,200,429	1,558,792
電子記録債務	2,275,277	2,370,736
短期借入金	3,000,000	3,000,000
1年内返済予定の長期借入金	300,000	300,000
未払法人税等	406,250	15,827
役員賞与引当金	62,558	54,000
製品保証引当金	40,410	31,045
株主優待引当金	42,363	21,638
その他	2,821,215	1,789,540
流動負債合計	11,148,504	9,141,580
固定負債		
役員退職慰労引当金	376,043	397,456
退職給付に係る負債	498,805	511,867
その他	272,972	273,642
固定負債合計	1,147,821	1,182,966
負債合計	12,296,326	10,324,546
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	674,000	674,000
資本剰余金	680,008	680,008
利益剰余金	29,158,920	29,087,046
自己株式	△1,648	△1,692
株主資本合計	30,511,280	30,439,361
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,167	6,920
退職給付に係る調整累計額	△119,182	△97,898
その他の包括利益累計額合計	△105,015	△90,978
純資産合計	30,406,265	30,348,383
負債純資産合計	42,702,592	40,672,929



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	27,101,533	17,907,170
売上原価	17,203,781	10,737,882
売上総利益	9,897,752	7,169,287
販売費及び一般管理費	8,086,606	6,654,531
営業利益	1,811,145	514,756
営業外収益		
受取利息	22	21
受取配当金	8,923	8,895
雇用調整助成金	—	137,171
受取分配金	111,162	83,591
その他	98,900	131,313
営業外収益合計	219,008	360,993
営業外費用		
支払利息	8,732	8,732
不動産賃貸費用	35,105	34,407
その他	540	1,126
営業外費用合計	44,379	44,267
経常利益	1,985,775	831,483
特別利益		
固定資産売却益	596	653
特別利益合計	596	653
特別損失		
固定資産除却損	10,077	6,180
減損損失	7,539	1,443
その他	3,798	—
特別損失合計	21,415	7,623
税金等調整前四半期純利益	1,964,956	824,512
法人税、住民税及び事業税	426,877	38,170
法人税等調整額	260,343	266,896
法人税等合計	687,221	305,066
四半期純利益	1,277,735	519,446
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,277,735	519,446

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	1,277,735	519,446
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,722	△7,247
退職給付に係る調整額	21,683	21,284
その他の包括利益合計	4,961	14,036
四半期包括利益	1,282,696	533,483
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,282,696	533,483

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報システム事業	制御システム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	22,057,915	5,043,618	27,101,533	—	27,101,533
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	23,200	23,200	△23,200	—
計	22,057,915	5,066,818	27,124,733	△23,200	27,101,533
セグメント利益又は損失(△)	3,262,944	△80,670	3,182,273	△1,371,128	1,811,145

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△1,371,128千円には、セグメント間取引消去6,751千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,377,879千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「制御システム事業」セグメントにおいて、連結子会社の有する事業用資産について、今後のキャッシュ・フローの回収可能性を鑑みて、帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、7,539千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報システム事業	制御システム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,756,034	4,151,136	17,907,170	—	17,907,170
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	4,120	4,120	△4,120	—
計	13,756,034	4,155,256	17,911,290	△4,120	17,907,170
セグメント利益又は損失(△)	1,698,931	△85,198	1,613,732	△1,098,976	514,756

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△1,098,976千円には、セグメント間取引消去9,308千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,108,284千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「制御システム事業」セグメントにおいて、連結子会社の有する事業用資産について、今後のキャッシュ・フローの回収可能性を鑑みて、帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、1,443千円であります。